

住友電気工業株式会社伊丹製作所の見学記

編 集 委 員 会

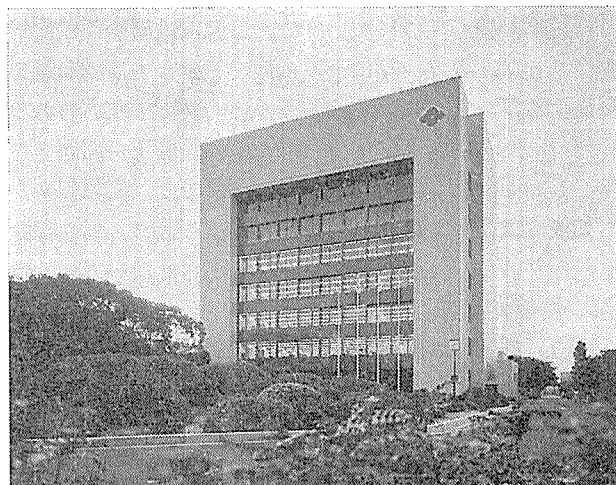
万葉の古歌に「猪名野笹原」と歌われ、また天平の頃僧・行基が昆陽池を開いた故地として知られている兵庫県伊丹市にある住友電気工業株式会社伊丹製作所を、プレストレストコンクリート技術協会編集委員会のメンバーで3月30日に見学させていただいた。

伊丹製作所は、昭和16年3月、超合金工具「イグタロイ」および航空機の弁バネ用高級ピアノ線の製造を目的に開設された。以来、非電線部門の中心として事業の多角化による経営の拡大発展を支え、現在は、特殊線、粉末合金、合成ダイヤモンド、ディスクブレーキ、電子材料、化合物半導体の各部門と、新素材を中心とした研究開発部門を有している。

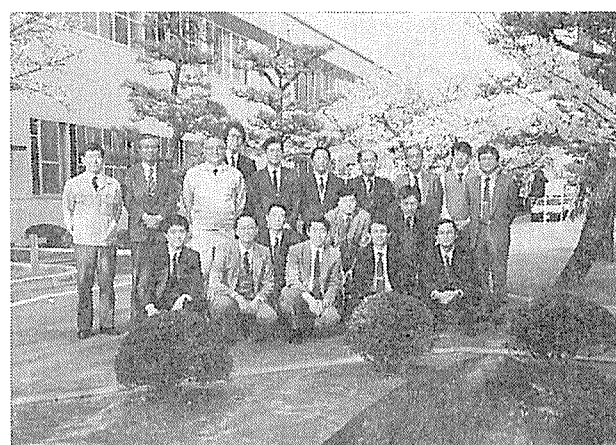
わが国唯一の製鋼から製品までの一貫メーカーとして、特殊線部門内で一般PC鋼線、PC鋼より線、PC鋼棒はもとより、太径PC鋼より線（SM工法用）、ゲビンDESTAUB（総ねじPC鋼棒）、アンボンドPC鋼材などの新しいPC鋼材およびこれらの部品を製造・販売しているが、PC鋼線、鋼より線は昭和16年にピアノ線の最初の国産化に成功して以来の長い経験と技術力に加え、デミング賞はじめ数々の賞に輝くすぐれた品質管理のもとに製造されている。これらの製品は国内において、フレッシュ工法、ディビダーク工法等のPC定着工法に使用されているだけでなく、広く海外へも輸出されている。また、PC鋼棒も製鋼から最終工程のねじ転造に至るまですべて厳格な品質管理のもとに製造されており、ストレッチング処理により製造工程中において全数が降伏点強度まで載荷され、その品質が確実に保証されている。さらに、鉄道枕木用、スラブ板用細径鋼材の量産体制も確立されている。

当日は、まず国内でも画期的なPC・SRC構造建築物として評価されている事務所棟（地上8階建てで、奥行27m、幅24mの無柱空間の事務室を有する）の会議室で、PC鋼材製造工程等の説明をうけた後、桜花爛漫の中、各工場のPC鋼材の一貫生産システムを見学させていただいた。ゴミ一つ無く整理整頓された工場内では少人数で高度な品質管理が行き届いているのには感嘆した。

斯界のある先生から「PC構造物は生き物である。生



住友電気（株）伊丹製作所事務所棟



記念撮影

かすも殺すもこれに関わる人々の対応次第である」旨お聞きした言葉を思い出し、計画・設計・施工が比較的重視されがちなこの業界において、PC構造物の魂ともいふべき鋼材の重要性を再認識した。またその高品質に対する信頼性から今後多方面に応用されるPC構造物への取組みに見学者一同心強さを感じた次第である。

最後に、伊丹製作所の見学に際し懇切丁寧なお世話をいただいた住友電気工業株式会社特殊線事業部の方々へ心より御礼申し上げます。

【記：福永英治】